

主な出来事

【内政】

- 外貨不足により石油製品の輸入に遅れが生じ、国内における燃料不足が問題化した。
- 29日に開かれた閣議において、大統領府経済・社会開発大臣ポストが廃止され、新しく大統領府経済調整担当大臣並びに大統領府社会分野担当大臣が創設された。

【外交】

- 5月2日～4日の日程で河野外務大臣がアンゴラを訪問。今夏に開催されるTICAD7への安倍総理からの招待状をロウレンソ大統領に手交した。
- ロウレンソ大統領は南アのラマポーザ大統領の再選に伴う就任式に出席するため南アを訪問した。

【経済】

- 2日、アンゴラを訪問中の貸谷豊田通商株式会社取締役社長がロウレンソ大統領を表敬訪問した。
- サトゥルニノ氏に代わり、セバスティアオ・パイ・ケリード・ガスパル・マルティンス氏が新ソナンゴル取締役協会会長に任命された。

内政

1. 国防軍人事

ロウレンソ大統領は、88名のアンゴラ国防軍の将軍を罷免する人事を発表した。またこれを受け新しく66名を国防軍の重役に任命した [\(A024 5/16\)](#)。

2. 国家警察人事

ロウレンソ大統領は、アンゴラ国家警察の幹部である61名を罷免し、新しく26名を任命した [\(AP 5/17\)](#)。

3. 地雷除去作業

国家地雷院(INAD)は、2002年以降、アンゴラは地雷汚染地域数を約3000地域から約1000地域にまで減少させ、総額5億米ドル相当が支出されてきたと表明した [\(AP 5/1\)](#)。

4. 国内での燃料不足

国内における燃料不足により交通に支障が出ており、特にルアンダにおける燃料不足は深刻であ

る。3月にも国内での燃料不足が問題になっていた。ソナンゴルは外貨不足により燃料の輸入に遅れが生じているとコメントした [\(JA 5/6\)](#)。

5. 民営化基礎法

官報にて公布された民営化基礎法によれば、民営化される公社を買収する会社は、買収額の支払いの一部分を政府発行の公債購入により行うことが出来ると定めている。また、民営化プロセスは公開入札、事前条件付き公開入札及び株式取引によって行われると記されている [\(AN 5/17\)](#)。

6. 空港運営の民営化の流れ

アブレウ運輸大臣は、国内に所在する17の空港及び鉄道網の運営に民間経営者を入れる政府方針を発表した。当該公開入札プロセスは今年9月～10頃開始される予定 [\(JA 5/26\)](#)。

7. 新大臣ポストの創設

29日に開かれた閣議において、大統領府経済・社会開発大臣のポストが廃止されることが決

定した。また、新しく大統領府経済調整担当大臣及び大統領府社会担当大臣のポストが創設された([AP 5/29](#))。

## 外交

### 1. 河野外務大臣のアンゴラ訪問

#### (1) 河野大臣の大統領表敬

3日、河野外務大臣がロウレンソ大統領を表敬訪問し、本年8月に横浜で開催されるTICAD 7への安倍総理からの招待状が手渡された。表敬終了後、河野大臣は記者団に対し、同会談において二国間協力関係の重要点に関し議論が行われたと述べた([AP 5/3](#))。

#### (2) 保健分野への協力

3日、アウグスト外務大臣と河野大臣は、経済社会開発計画を通じた保健分野への2億円の無償資金協力に係る交換文書署名を行った。河野大臣は署名式典の場において、二国間関係の発展及びアンゴラにおける日本企業による投資を更に促進するための協定締結の準備を行っていること述べた([AP 5/3](#))。

#### (3) 外相会談

3日に開かれた日アンゴラ外相会談の場では、二国間協力を更に強化するために実施されている様々なプロジェクトや交渉中の協定が議題にあがった。アウグスト大臣は、アンゴラはプロジェクトの草案を作成し、TICADを通じた日本からの融資獲得に向けた技術支援を必要としていると発言した([JA 5/5](#))。

### 2. 米アンゴラ防衛協力

ロビトにて、Lucke Fabiunke 駐アンゴラ米国大使館軍事協力長は、米国は軍事分野におけるアンゴラとの協力を強化したい意向であると述べた([JA 5/16](#))。

### 3. 稲作振興事業

2013年から2018年にかけてJICAがウアンボ州及びビエ州で実施していた稲作振興に関する調査が終了した。2つの州において様々な種子の適合性が試され、今後種子の増殖が行われる見込み([AP 5/27](#))。

### 4. 大統領の南ア訪問

ロウレンソ大統領は、再選を果たしたラマポーザ南ア大統領の就任式に参加するために南アを訪問する([AP 5/23](#))。

### 5. 大統領のコンゴ(民)訪問

ロウレンソ大統領は、アンゴラ、コンゴ(民)、ルワンダ首脳間で中部アフリカ地域における安全保障に関する議論を行うためキンシャサで開催されるサミットに参加する([JA 5/31](#))。

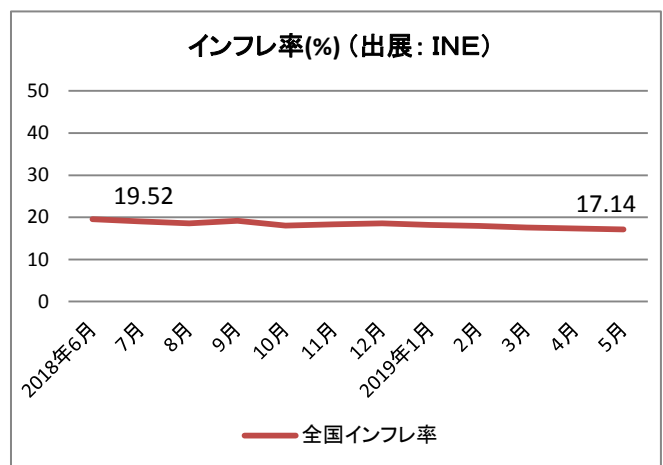
## 経済

### 1 主要経済指標

#### (1) 物価

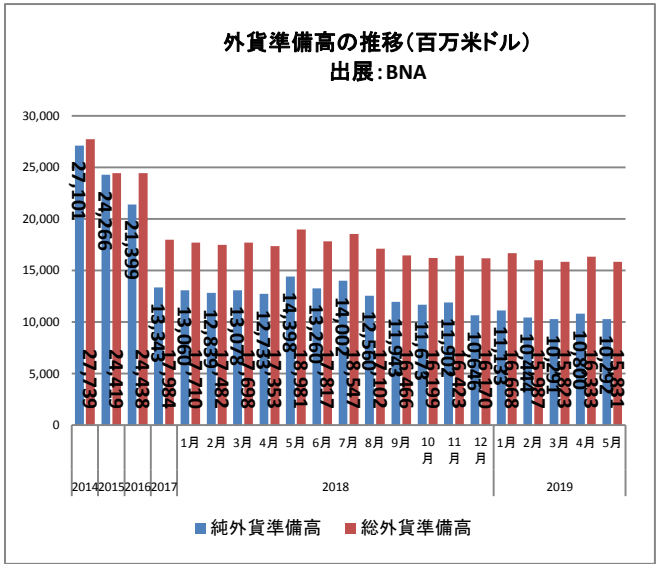
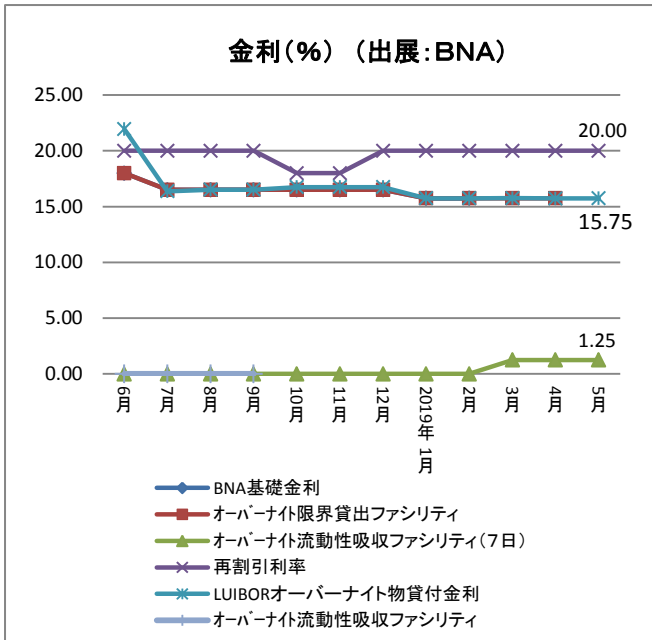
国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の4月期年間インフレ率は、17.14%。月間物価上昇率は1.09%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、保健(1.95%)、レジャー・レクリエーション・文化(1.82%)、家具、家財、メンテナンス(1.21%)、食料品・非アルコール飲料(1.20%)



#### (2) 金利

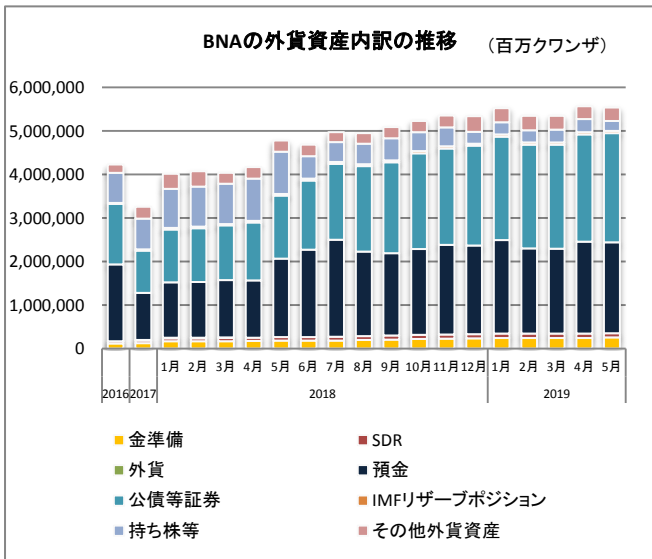
5月24日に金融政策委員会(CPM)が開催され、政策金利を15.75%から15.50%に引き下げることと決定した。



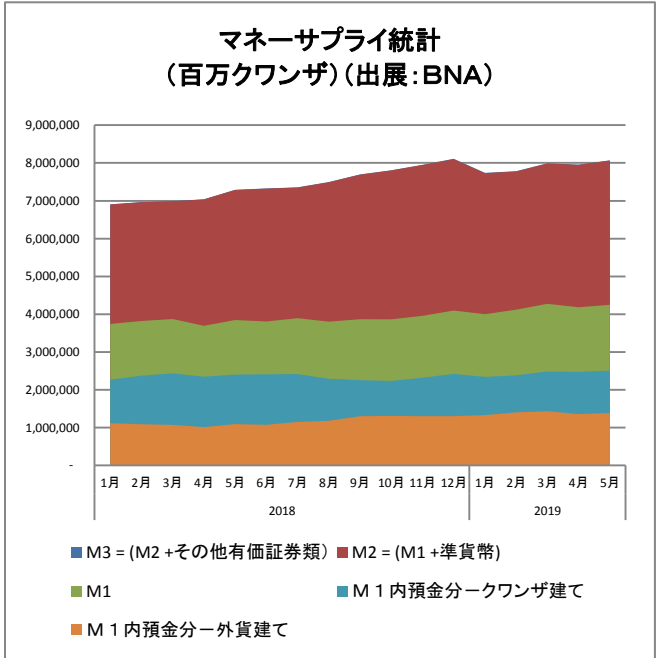
### (3) 為替市場

5月31日、為替相場は1 USD = 330.44612AKZで推移。

### (4) BNA 発表の外貨準備高統計

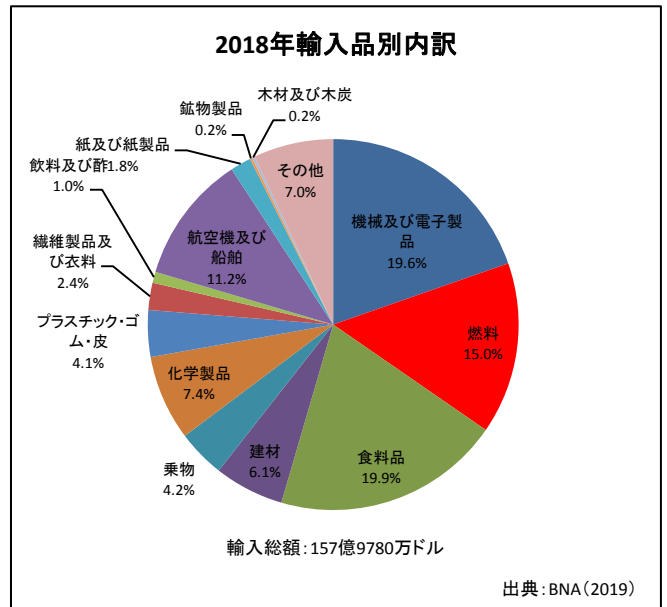
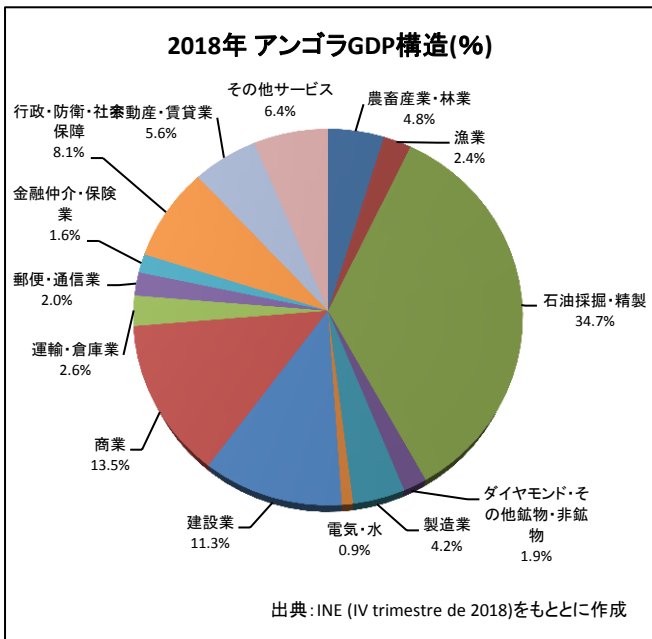
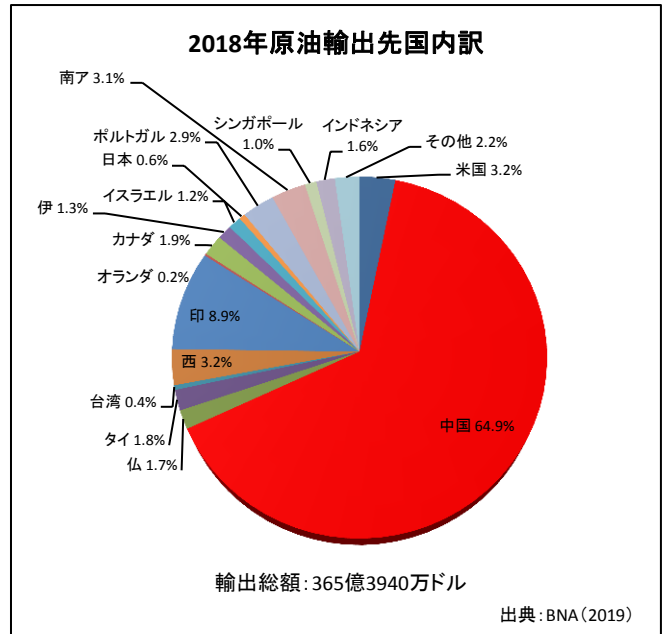
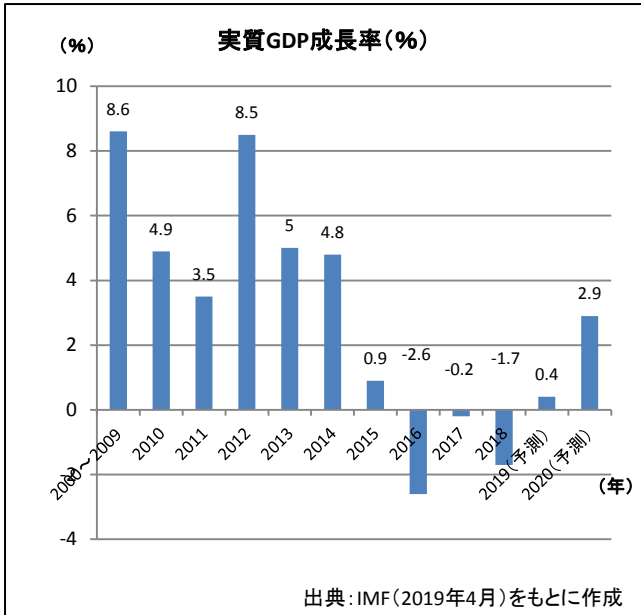


### (5) マネーサプライ統計

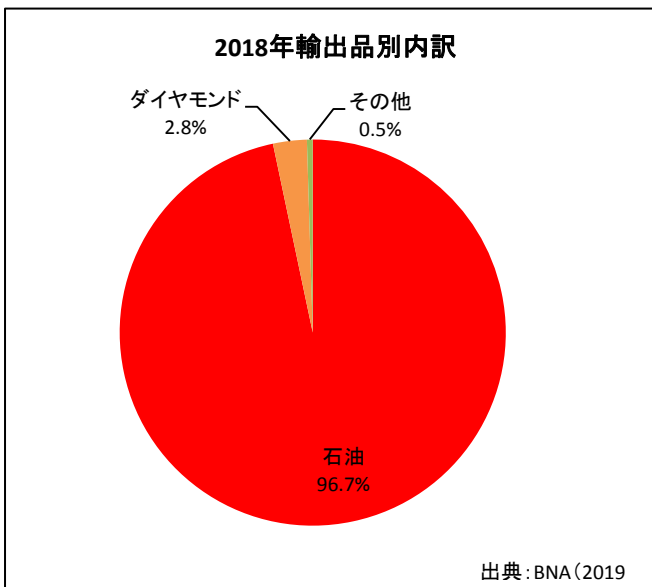


2019年	1月	2月	3月	4月	5月	百万クワンザ
M3 = (M2 + その他有価証券類)	7,739,248	7,782,717	7,991,583	7,957,225	8,069,942	M3 = (M2 + その他有価証券類)
M2 = (M1 + 準貨幣)	7,729,816	7,775,766	7,984,927	7,950,731	8,063,374	M2 = (M1 + 準貨幣)
M1	4,002,022	4,120,991	4,275,759	4,185,228	4,249,196	M1
M1内現金等流通分	327,229	332,910	353,829	349,304	350,185	M1内現金等流通分
M1内預金分	3,674,793	3,788,082	3,921,930	3,835,924	3,899,011	M1内預金分
M1内預金分-クワンザ建て	2,342,125	2,383,714	2,486,924	2,476,436	2,509,426	M1内預金分-クワンザ建て
M1内預金分-外貨建て	1,332,668	1,404,368	1,435,006	1,359,488	1,389,585	M1内預金分-外貨建て

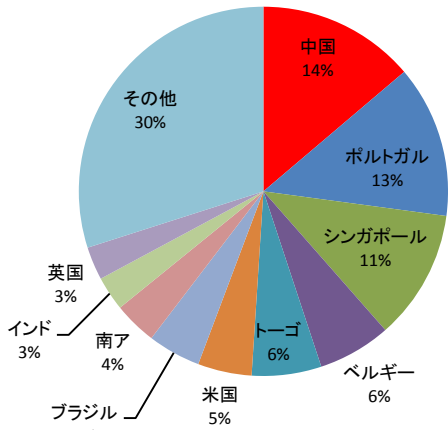
### (6) GDP及び成長率



## (7) 主要貿易統計



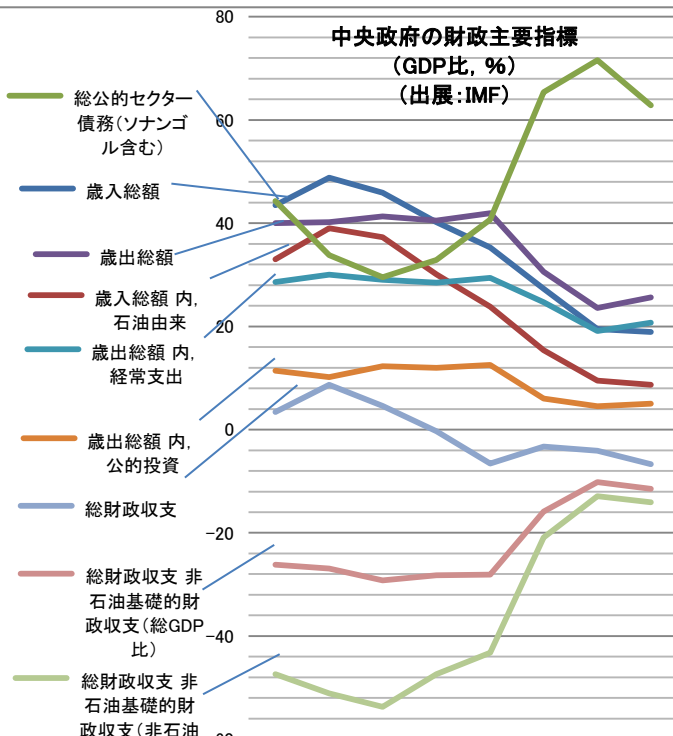
### 2018年輸入先国内訳



輸入総額: 157億9780万ドル

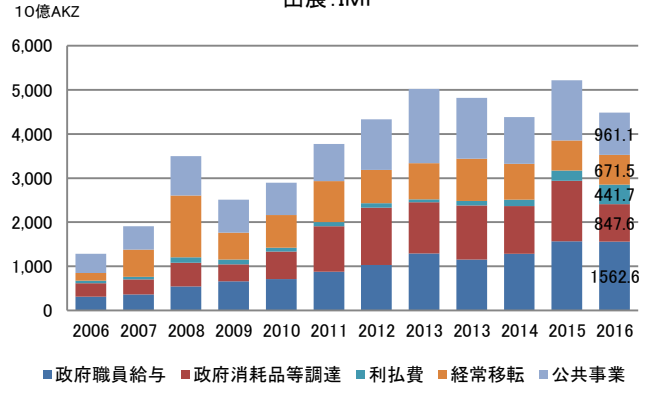
出典: BNA (2019)

### 中央政府の財政主要指標 (GDP比, %)

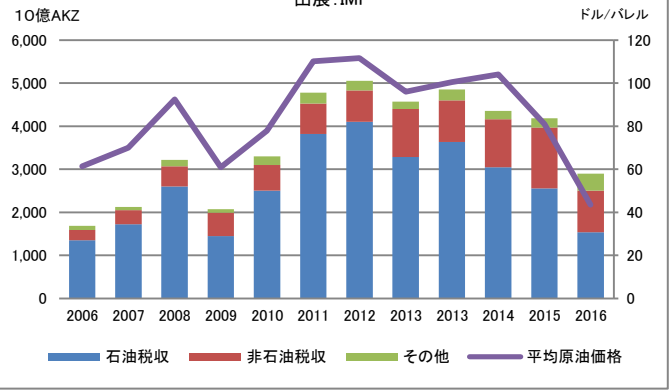


	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
歳入総額	43.5	48.8	45.9	40.2	35.3	27.3	19.5	18.9
歳入総額内、石油由来	33	39	37.3	30.1	23.8	15.4	9.5	8.7
歳出総額	40	40.2	41.3	40.5	41.9	30.6	23.6	25.6
歳出総額内、経常支出	28.6	30	29	28.5	29.4	24.7	19.1	20.7
歳出総額内、公的投資	11.4	10.2	12.3	12	12.5	6	4.5	5
総財政収支	3.4	8.7	4.6	-0.3	-6.6	-3.3	-4.1	-6.7
総財政収支 非石油基礎的財政収支 (総GDP比)	-26.2	-26.9	-29.2	-28.2	-28.1	-15.9	-10.2	-11.5
総財政収支 非石油基礎的財政収支 (非石油GDP比)	-47.4	-51.1	-53.7	-47.4	-43.2	-20.9	-12.9	-14.1
総公的セクター債務 (ソナンゴル含む)	44.3	33.8	29.5	32.9	40.7	65.4	71.6	62.8

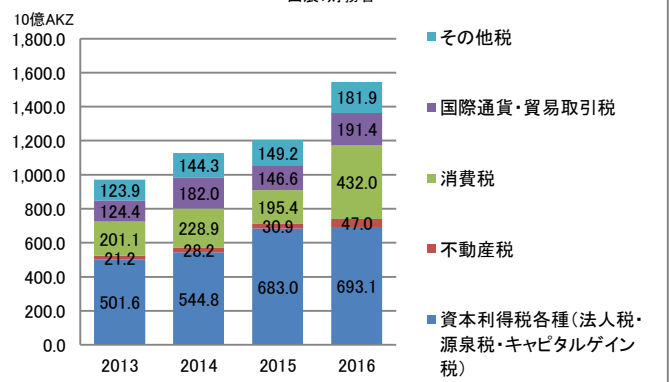
### 経常支出の推移 出展: IMF



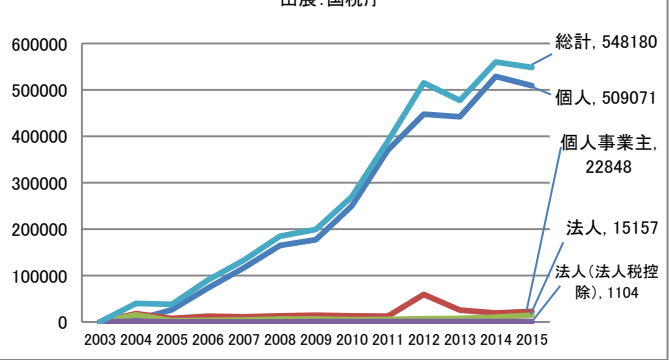
### 税収の推移 出展: IMF



### 非石油税収の推移 出展: 財務省



### 納税者数の推移 出展: 国税庁



## 2. 石油・ガス

### (1) ソナンゴル総裁の交代

8日、ロウレンソ大統領は、カルロス・サトゥルニノ・ソナンゴル総裁を解任し、セバステアオ・パイ・ケリード・ガスパル・マルティンス氏（前ソナンゴル取締役会役員）を新総裁に任命した（[AP 5/8](#)）。

### (2) 新規石油埋蔵の確認

ENIは、第15/06鉱区において新規の石油埋蔵を確認したと発表した。埋蔵量は2億5000万バレルである由（[Africa 21 5/14](#)）。

## 3. 豊田通商社長の訪問

2日、貸谷豊田通商株式会社取締役社長がロウレンソ大統領を表敬訪問した際、豊田グループは自動車産業のみならず、インフラやエネルギー部門においてアンゴラの成長に貢献することに関心を有しており、日本企業が持つ技術をアンゴラの包括的な発展のために役立てる可能性を模索したいと述べた（[AP 5/2](#)）。

## 4. 新規クレジット・ライン

アンゴラ財務省とドイツ銀行、アンゴラ開発銀行はアンゴラの民間セクターを対象にした総額10億ユーロのクレジット・ラインを開設した（[AN 5/9](#)）。

## 5. Angosat-3

ロウレンソ大統領は宇宙衛星 Angosat-3 の建設を承認した。同衛星は、平和的利用を目的とし、国の社会経済発展に寄与することに加え、国家戦略的に利用されるものとなる（[DW 5/12](#)）。

## 6. Airbus との協力

フランス訪問を終えたアウグスト外務大臣は、アンゴラ通信・情報技術省とAirbusは、Airbusがアンゴラ向けに地球観測衛星を建設することに関する合意書に署名を行った旨発表した（[DN 5/18](#)）。

## 7. コリンバ道建設計画

(1) ロウレンソ大統領は、5月の大統領令により無効化されたコリンバ道建設計画に係る公開入札に関し、工事は今後進められることになると言

及した。無効化された契約上では関連費用について過剰請求が確認されていた由（[AP 5/18](#)）。

(2) 企業家のイザベル・ドス・サントス氏は自身が関与していたコリンバ道建設計画についてコメントし、過剰請求がなされていたというのは偽りであり、入札プロセスに透明性が欠けていたと指摘されている点に関しても否定した（[JA 5/21](#)）。

## 8. アルミニウム製造工場

CITICは、Gong Tao 駐アンゴラ中国大使臨席のもと、ルアンダーベンゴ経済特区にて年間生産能力1万トンを備えたアルミニウム製造工場の落成式を執り行った。CITICは同プロジェクトに4000万米ドルを投資している（[AP 5/21](#)）。

## 9. 中国の電力部門での協力

公表された配電公社（ENDE）と中国企業であるHuawei及びZTE社の契約内容によれば、当該中国企業2社は、プリペイド式の電力メーターの供給・敷設に加え、係る管理システムの導入及び配電網の改修に従事する（[AP 5/21](#)）。

## 10. ロシア資本の撤退

ロシアの政府系銀行であるVTB銀行は、同行が2006年以降アンゴラで営業を行っているVTB-Africa銀行に所有する50.10%の株式をヴァージニア諸島に本部を置くRostang社に売却する予定であると発表された（[JA 5/26](#)）。

## 11. 民間投資

民間投資輸出促進庁（AIPEX）は、2018年8月から2019年5月にかけて、同庁は123の民間投資プロジェクトを受理し、プロジェクト総額は8億5000万米ドルに上るとした（[AN 5/27](#)）。

## 12. 世界観光フォーラム

ロウレンソ大統領は、当地で開催される世界観光フォーラムの開会式において、政府はアンゴラへの観光客に対しより多くのオプションを提供するために、カボ・レド、カランドウーラ、オカバンゴ・ザンベジ・プロジェクト等に関連するインフラを短期・中期的に改善することに注力すると述べた（[AP 5/23](#)）。

---

JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, MH:Macau Hub, DN: Diario de Noticias, NJ: Novo Jornal, VOA: Voice of America, CK: Club-K, AA: All Africa, AN:Ango Notícias, OBS: Observador, AP: Angop, A024:Angola 24 horas, FT: Financial Times, PA: Portal de Angola, EIU: Economist Intelligence Unit, ME: Mercado, VE: Valor Económico, OP: O País, DV: Dinheiro Vivo, VG:Vanguarda